

第188回記者懇談会

令和6年9月11日

日本記者クラブ 18:30-20:00(20分)



愛育病院における 産後ケア事業の取り組み

総合母子保健センター 愛育病院

安達 知子



母子愛育会愛育病院の紹介

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 1934年設立(港区南麻布)

総合母子保健センター(法人を構成するいくつかの部門の1つ)

1. 愛育病院 2015年2月 南麻布→芝浦に移転(116→160床)
(病院内にも2-4床程度の産後ケア部門、2021年1月よりオープン)
2. 愛育クリニック(南麻布にある旧、愛育病院)2015年2月より
入院部門を除き、外来のみで構成(1F2F)
3. 愛育産後ケア子育てステーション(愛育クリニックの建物
3F4Fの2フロアより構成 2023年9月よりオープン)
4. 愛育研究所
5. その他(特殊ミルク部門など)

当院における産後ケア導入の経緯

- 愛育会は戦中・戦後よりもともと頼る人や頼る場所のない妊産婦への支援や子育て支援活動を行っていた。
(愛育班活動、レスパイト事業など)
- 2015年移転後の愛育病院分娩件数は年間3000件であったが、妊産婦のメンタルヘルスチェックで約5%の妊産婦に支援の必要性を感じることに、少子化の下、将来の母子病院としての新たな展開を考えて、ABC (after birth center)構想を温めていた。
- 2017-2018年より、積極的に港区長、副区長へ面会し、ABCへの公費支援を嘆願していた。

当院における産後ケアの概要

2019年12月6日

産後ケア事業を市町村の努力義務とする「母子保健法の一部を改正する法律」の公布

2020年4月

東京都港区：宿泊型ショートステイ事業開始

2021年2月1日

芝浦の愛育病院で産後ケアショートステイ事業開始

- 当院で出産した方で産後4か月までを対象
- 港区助成金(8割補助)利用-1泊2日62,500円→12,500円
- 特別室利用3,500円/日 原則2部屋で運用
- 病棟スタッフ 兼務で受け持つ
- オプションケア(有料)



利用者の満足度調査

年間分娩3000
件で多忙
コロナ禍で苦
しいスタート

産後ケア入院の利用者と評価

- ・ 期間:2021年2月1日～7月15日
- ・ 対象者:28名
- ・ 評価:利用時間診票、退所時アンケート用紙の記入
質問項目
 1. 利用前後の心身状態の変化(5段階評価)
 2. 利用目的とその達成度
 3. ケア・オプション満足度
 4. 料金・利用期間の妥当性
 5. その他感想

利用者総数

28名 初産婦:19名(68%)
経産婦:9名(32%)

平均年齢

:37歳(32歳～44歳)

分娩様式

:経膈分娩 19名(68%)

:帝王切開 9名(32%)

利用時期

:産褥5～7日 24名(86%)

:産褥2週間～2か月 4名(14%)

平均利用日数

:5.4日(1泊2日～6泊7日)

港区補助金登録者

22名(78%)

ケアの実際

授乳介助
育児相談



児を預けて休む



スタッフが沐浴



検温なし
自由に過ごす

有料オプション

- 1位 アロマトリートメント
- 2位 ボールケア
- 3位 ケーキセット
- 4位 産後ヨガ
- 5位 スペシャルメニュー
- 6位 タッチケア
- 7位 乳房マッサージ

助産師
アロマセラ
ピスト



助産師
ボールケ
アインス
ラクター



利用目的・要望

(複数回答)

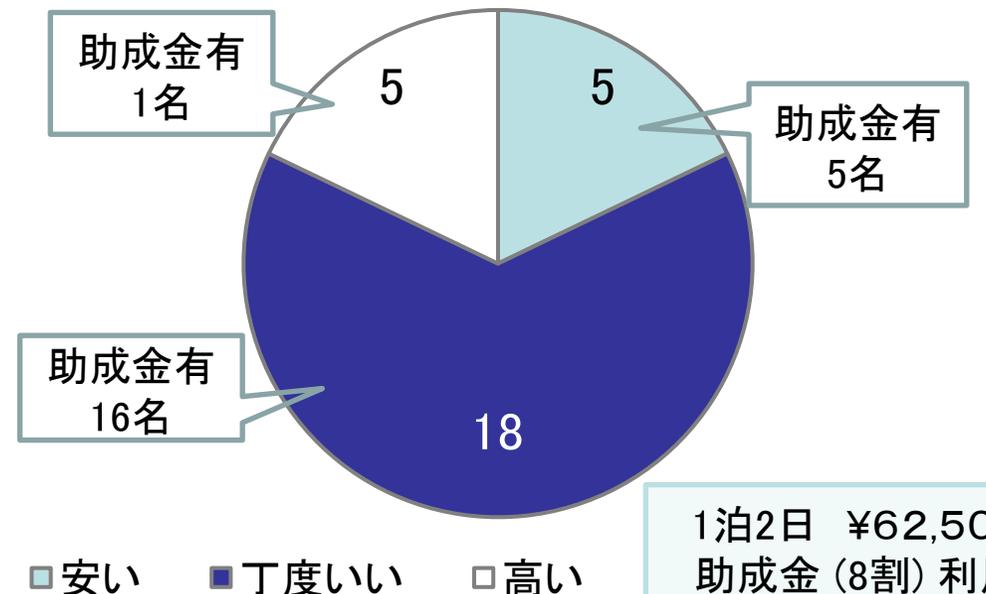
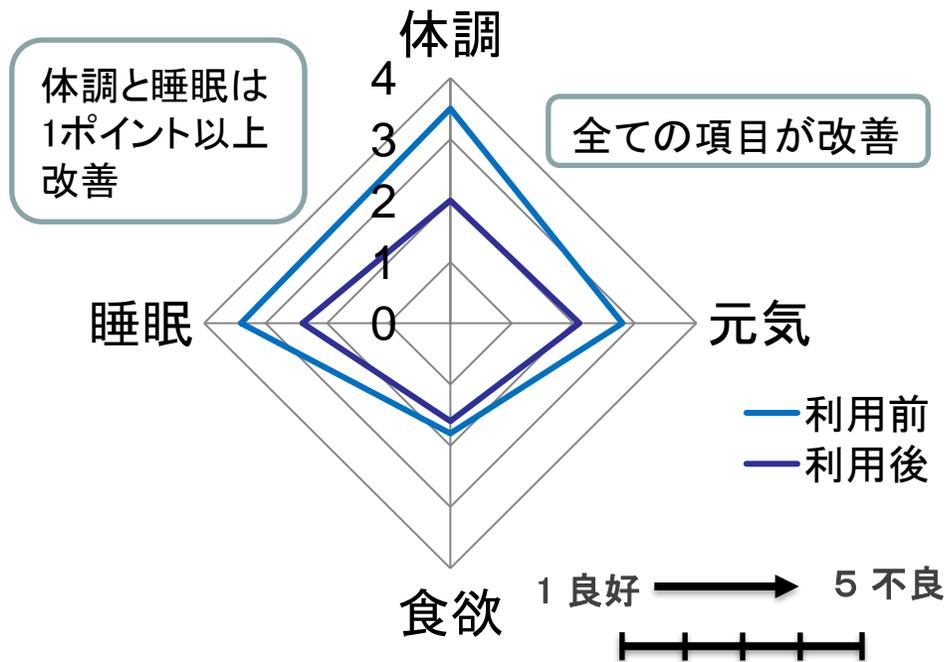
- 体力回復・休養 59.3%
- サポートレスのため 37.0%
- 育児スキル習得のため 33.3%

ケアもオプションも高い
満足度が得られた

料金の妥当性

利用前・後 心身状態変化

(5段階評価)



1泊2日 ¥62,500
助成金(8割)利用
自己負担¥12,500
1泊追加ごとに
プラス¥6,250

愛育産後ケア子育てステーション

2023年9月～2024年6月の概要

- ショートステイ
- デイケア
- × アウトリーチ

病院でのショートステイの評価から、以下を強化する

- ①心身の癒しや傾聴
- ②夫や家族と共に過ごせる空間
- ③夫や家族を含めた支援
- ④食事をさらに美味しく
- ⑤専門的知識提供(子育て講座/子育て広場、心のケアなど)

子育てミニ講座・子育て広場

対象者	子育て期の親子
内容	アレルギーのお話、こどものこころ、離乳食 赤ちゃんの発熱の対応、父親クラスなど
開催日時	3～4回/週 1回50分
講師	医師、薬剤師、栄養士、臨床心理士 歯科衛生士、おもちゃコンサルタント
料金	1,100円～2,200円（税込）
予約方法	愛育クリニックホームページ @リンク

その他追加事項

- 利用中に予防接種・健診可
- 各科受診(産婦人科、小児科、歯科)可
- **外出可** (1回に2時間程度)
- 面会可 (面会時間10:00~20:00)
- 家族宿泊可
(大人(小学生以上)、未就学児)
食事あり、食事なしプラン

受け入れ困難なケース

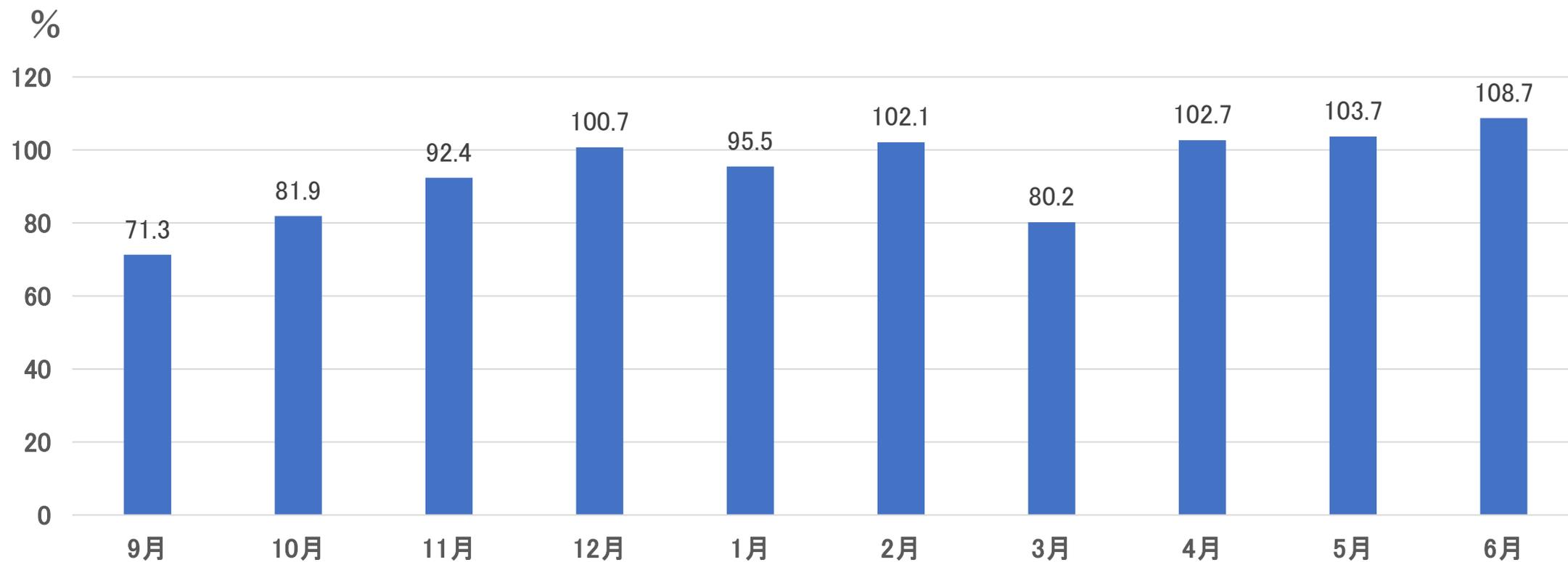
- 体調不良の場合(母子ともに)
- 医療介入・処置が必要で自己管理ができない場合
- 精神疾患(うつ病、統合失調症、双極性障害、解離性同一性障害など)があり主治医の意見書がなく、緊急時の受け入れ先が決まっていないケース

ショートステイ・デイサービス概要

	ショートステイ(15部屋)	デイサービス(5-10部屋)
対象	5か月未満	7か月未満
利用期間	1泊2日～1か月	10:00～15:30
基本料金	1泊2日 65,000円	1日 28,000円
基本ケア	育児相談、母乳授乳支援、 児のお預かり	同左
食事	3食＋おやつ	昼食＋おやつ

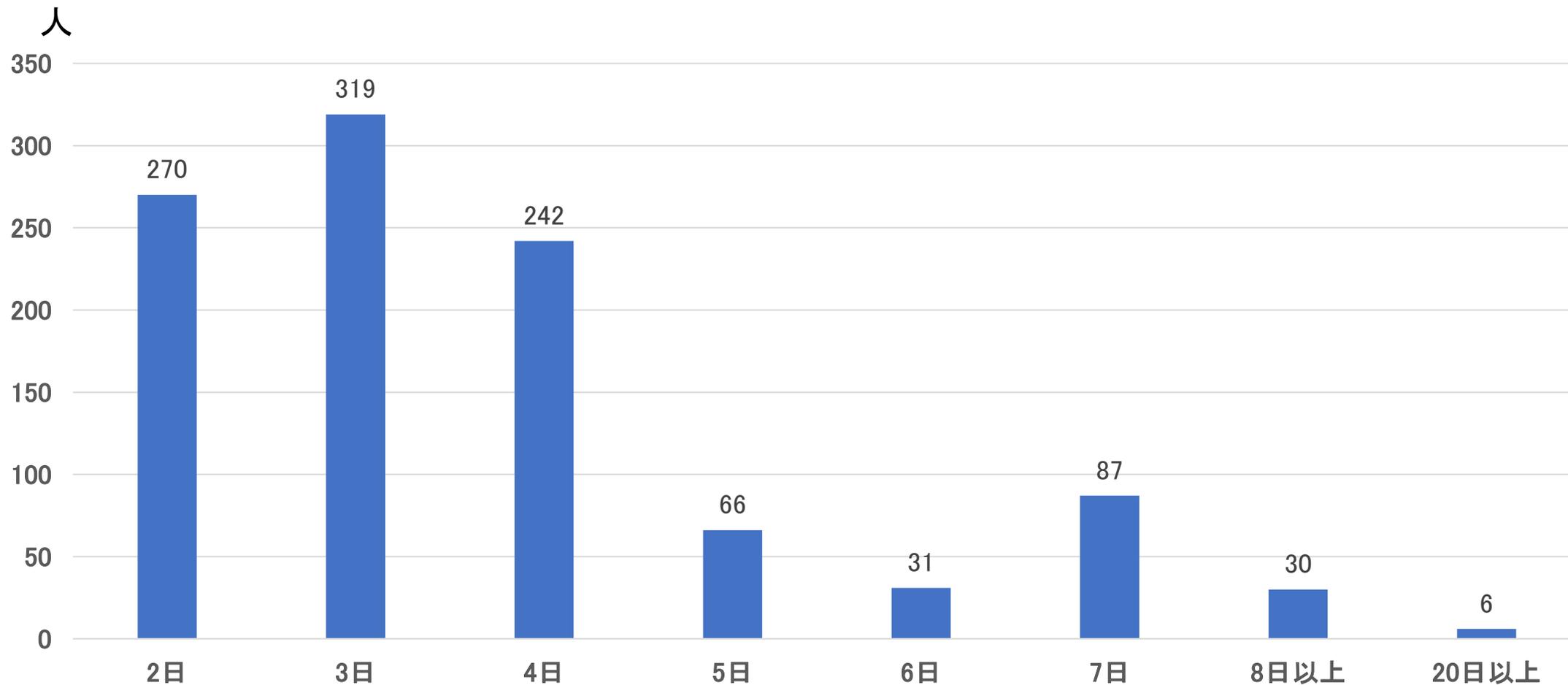
稼働率 ショートステイ

2023/9～2024/6



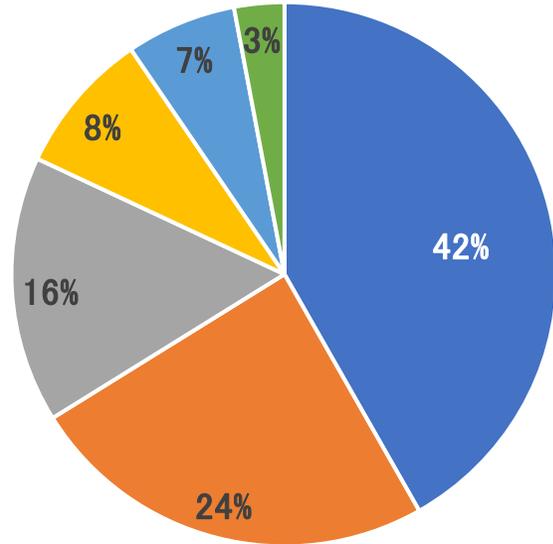
利用日数 ショートステイ

2023/9～2024/6



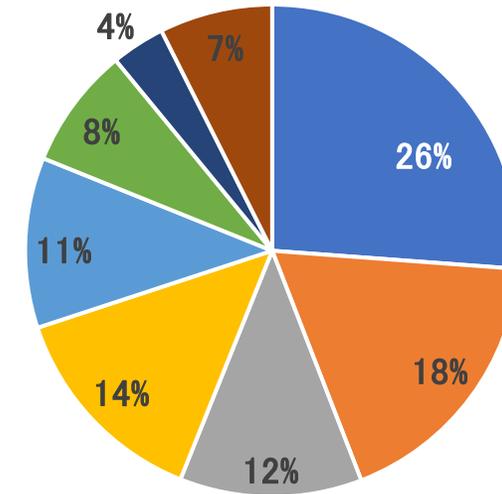
居住区 ショートステイ

2023/9～2024/3 5区委託契約



■ 港区 ■ 目黒区 ■ 文京区 ■ 江東区 ■ 大田区 ■ その他

2024/4～2024/6 7区委託契約



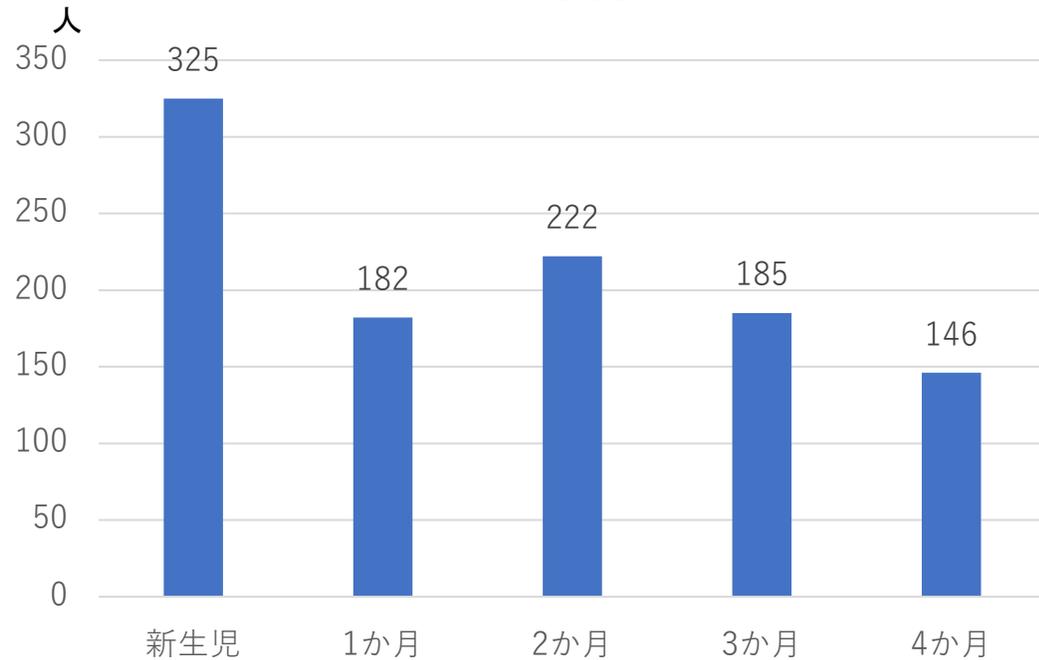
■ 港区 ■ 目黒区 ■ 文京区 ■ 江東区
■ 大田区 ■ 新宿区 ■ 品川区 ■ その他

利用月齢

2023/9～2024/6

ショートステイ

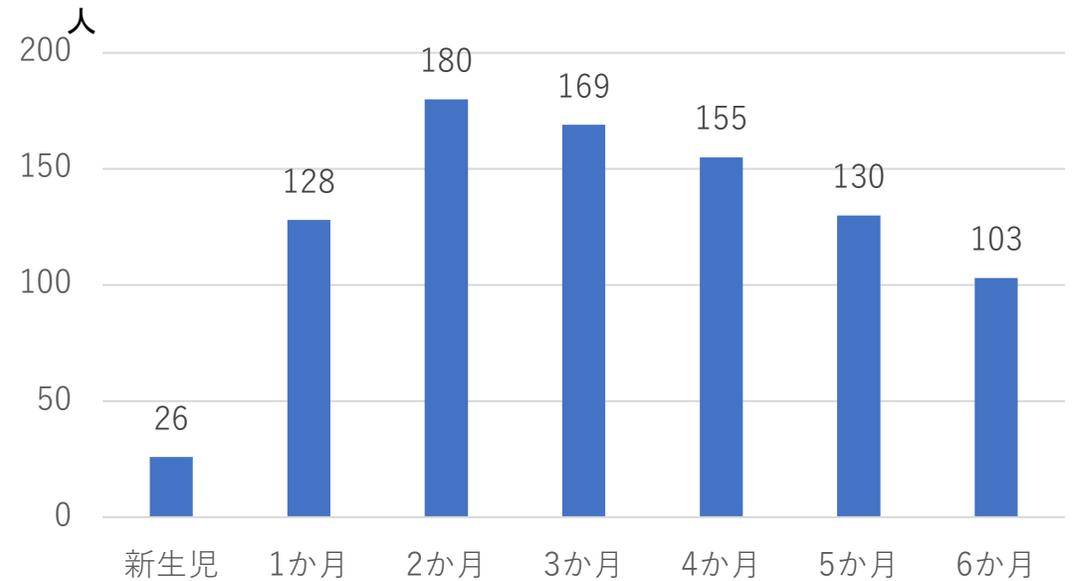
N = 1060



出産施設 愛育病院 296人、その他施設 735人

デイサービス

N = 891



愛育病院 378人、その他施設 513人

人員配置

- ①愛育クリニック 看護スタッフ 9名
- ②愛育病院 看護スタッフ 5名
(毎月 愛育病院から出向)

ショートステイ・デイケア

各種講座・クラス 4回/週

日勤 助産師 4~5名
保育士 3名
看護助手 1名
清掃委託 2名
夜勤 助産師 2名

医師・薬剤師・栄養士・心理士・
歯科衛生士などが担当

ショートステイの施設

	部屋数	広さ	室料差額	家族宿泊	その他
スタンダード	8室	22m ²	無	大人○ 子供×	シャワー/トイレ
特別室B (和モダン)	5室	28m ²	2万円	大人○ 子供○	シャワー/トイレ 電子レンジ アメニティー/タオル
特別室A	2室	31m ²	3万円	大人○ 子供×	バスタブ/トイレ 電子レンジ アメニティー/タオル

助成制度・自己負担額

	港	目黒	文京	江東	大田
1日 当たり 自己 負担額	デイサービス 2000円 (総額28000円) ショートステイ 4000円 (総額65000円 /1泊2日)	3000円	9750円	6000円	2500円
助成 期間	デイサービス (6回) ショートステイ 7日間	7日間	7日間	4日間	4日間

産後ケア事業のまとめ

- 産後ケアを希望する妊産婦は多い。
- 分娩件数の減少に伴い、空きベッド削減や看護スタッフの有効利用につながる期待はある
- 同じスタッフで一般妊産婦の管理と兼業する場合は、医療ケアを行う入院患者との差別化のために、場所やケアに対する煩雑さが生じる
- 自治体の公費による援助がなければ、赤字経営となる⇒自治体と共に産後ケア事業を行う必要がある
- 特に都会においては、産後女性の孤立化の防止、癒しと休息、育児支援と家族への教育の場となり、メンタルヘルスケアにも有効である
- 期間延長やオプションサービス拡大の要望もあり、デイケアやアウトリーチ活動への期待がある

今後へ向けて

自治体の公費支援は、産後ケアとして母親のケアのみを考えて計画された。

しかし、事業を開始して、子ども預かりや子どもに対するケアが極めて大きかったことより、

今後の産後ケア事業には、母と子の両者に対する支援が必須との視点で、公費予算を考えて頂きたい。

参考

日本全国産後ケア施設数

(2023.2-2024.7調査 自治体委託型のみ)

出生数	778,985
施設数	2,794
宿泊型	1,137
デイケア	691
夜間のみ	427
訪問(アウトリーチ)	1,102

	都道府県数	出生数	施設実数	全国平均並の施設数	全国平均との比較
北海道	1	28,762	141	103.2	136.7%
東北	6	46,421	190	166.5	114.1%
関東	7	277,303	666	994.6	67.0%
中部	9	104,813	581	375.9	154.5%
関西	7	145,554	483	522.1	92.5%
中国	5	47,537	196	170.5	115.0%
四国	4	22,661	98	81.3	120.6%
九州	8	105,934	439	380.0	115.5%
合計	33	47 778,985	2,794	2,794	100.0%

調査機関:株式会社グッドボタン(代表取締役 園田正樹)